

エコニュース県央

第36号

平成31年3月15日 発行 県央地区環境保全協議会



やぎがはな

●八木ヶ鼻湧水(三条市北五百川)

三条市下田地区の名勝八木ヶ鼻の麓に位置する八木神社の手水舎に引かれた湧水。

神苑の杉木立に包まれ、八木ヶ鼻や周辺を訪れた人々が喉を潤し、また容器に入れて持ち帰り、お茶に利用したりする人も見られます。

平成30年に「新潟県の名水」に選定されました。

(事務局)

主な内容

- 会長寄稿
レストラン バーグの奇跡
- 視察研修報告
- 平成30年度 新潟県環境保全優良事業所表彰
日本パーカラライジング株式会社新潟工場
- 三条環境センターだより
・県央地区の3名水が「新潟県の名水」に選定されました
・土壌汚染対策法が平成31年4月1日から改正されます
・トリクロロエチレン排出抑制に係る動向等について
- 散歩道 No.25
私の春の楽しみ
- 事務局日誌・編集後記

散			道
		歩	

No. **25**

「私の春の楽しみ」

フジイコーポレーション株式会社
生産技術 課長 内山 寛

写真は以前、新津丘陵で遭遇した野うさぎの仔である。昆虫や野草が好きな私は、若葉が芽吹く頃になると、近くの里山で山菜を採ったり、写真を撮ったりしていた。



ある年の春、林道を車で走っていると、脇の草むらから2匹の小動物がとび出し、先導するように少し走り、また草むらに入ってじっと動かなくなった。車を停めて近寄ってみると、かわいい仔うさぎだった。疲れたか、警戒したか、デジカメを取り出し、写真を撮って立ち去るまでじっとしていた。

その後、再会を期待して何度か行ったが叶わなかった。

しかし、毎年通っていると、更に新しい発見や出会いがあった。例えば、入梅の頃、林道の轍にできた小さな水たまりの上、せり出した木の枝にモリアオガエルの卵塊を発見。

生まれ落ちたオタマジャクシが車に踏まれたり、水が干上がらないかと気になり、毎週末見に行った。そして親ガエルも見てみたくなった。

実はカエルは大の苦手なのだが、そのときは興味が勝り、草木をかき分け、それらしき生き物をやっと見つけた。

が、調べたら、違う種類だった。しかしそれも新しい発見だった。

それとアカショウビン、渡り鳥でカワセミの仲間、小さなハトくらい、全体が鮮やかな赤褐色、嘴は赤色、キョロキョロと高く澄んだ声。やはり入梅の頃、例の林道を歩いていたら、いきなり現れて傍の木の枝に暫くとまった。至近距離で本物をはじめて見た。あとで、この辺では殆ど見ないと聞いた。翌年、飛ぶ後姿を一度見たきりだった。

仔うさぎをきっかけに、それまでと違う視点で周りを見ているうちに、いろいろな生き物がいたことに気付いた。

漫然と眺めていては見えないが、興味をもって見ようとすると、いろいろなものが見えてくる。新しい発見がある。

最近その林道も少しずつ整備、舗装が進んできた。私にとっては残念な限り。

今でも、若葉青葉の頃になるとカメラと録音機を持って出かける。

たった30分でも、その場に身を置くと他を忘れる。

事務局日誌

- H30. 6. 5 第1回理事会・通常総会
- H30. 7.17 新潟県環境保全連合会通常総会
- H30.10.16 第2回理事会
- H30.12. 4 県央地区環境保全協議会視察研修
- H31. 2.20 環境保全連合会事業推進部会
- H31. 3.15 エコニュース県央第36号発行
- H31. 3.19 第3回理事会

編集後記

- 今年度は、県央地域での事業活動に多く使用されている「トリクロロエチレン」に関する話題が多くなりました。来年度もこの動きは続くようですので、ご注目下さい。
- 今後も協議会事業への積極的な参加とご協力をよろしく願います。また、紙面の充実を図るため、ご意見・ご感想をお寄せください。

[事務局]

三条地域振興局健康福祉環境部 環境センター
TEL 0256-36-2231 FAX 0256-36-2235

[この用紙は再生紙を使っています。]